

雄峰

第146号

編集・発行 PTA広報部
鹿児島市郡元一丁目20番35号
平成28年11月29日



〔英語〕 暗唱〕 第五十三回県中学校英語暗唱大会 第四位 三年 戎 和夏 〔理科 鹿児島県標本展〕 〔昆虫の部〕 県知事賞 一年 淵本 梨心 入選 一年 前田 葵 岩元 俊輔 向笠 剛木 野元 萌衣	〔岩石の部〕 県知事賞 一年 中島 巧翔 鹿児島市長賞 一年 仲野 皓晴 南日本新聞社賞 一年 垣内紳一朗 特選 一年 関原 美佑 岩下侑央莉 宇都宮光嘉 川添 泰斗 入選 一年 関山 優輝 鳥淵 瑠菜 東 大夢 川越 瑚子 寺師 和未 関 真大 宮内那奈帆 富山 豪大 飯屋 透子	〔植物の部〕 県知事賞 一年 内藤 桜子 特選 一年 杉元 優介 入選 一年 大西 廉 山口 百合亜 柳 百合亜 岩山 心優 尾山 泰基 尾堂 泰基 柳 良太郎	〔理科 鹿児島県研究記録展〕 県知事賞 二年 有村 航河 県議会議長賞 二年 栗山 貴行 特選 二年 柴原 悠人 福村 成輝 井上 翔理	〔美術〕 第六十七回鹿児島県県画作品展 特選 二年 清水乃里樺 第二回全国海工ネ絵はがきコンテスト 優秀賞 三年 切通 大雅 〔部活動 文化部〕 第五十回県中学校音楽コンクール 〔夏の祭典〕 金賞 合唱部 吹奏楽部 第六十二回鹿児島県吹奏楽コンクール 中学校の部Aパート 銀賞 吹奏楽部 第八十三回NHK全国音楽コンクール 鹿児島県大会 金賞 合唱部 第八十三回NHK全国音楽コンクール 九州・沖縄ブロック大会 銅賞 合唱部 第七十二回九州合唱コンクール県予選 金賞 合唱部 第七十回九州合唱コンクール 金賞 合唱部 第十五回 われは海の子 歌唱コンクール 海の子大賞 三年 柴田康太郎 海の子賞 二年 川内 悠 〔部活動 運動部・同好会〕 鹿児島県総合体育大会 〔陸上競技〕 二年男子 OOM 第三位 西山 宏 〔ハンドボール〕 第三位 ハンドボール部 ベストマナー賞受賞 〔テニス〕 第四位 帖佐 拓真 前田 大和	〔国語 作文〕 第三十八回「少年の主張鹿児島県大会」 優良賞 二年 笠原多朗 鹿児島県「小さな親切」作文コンクール 県知事賞 一年 住吉絵美理 〔水泳〕 女子 OOM平泳ぎ 女子二〇〇m平泳ぎ 第三位 飯屋 透子 第三位 透子 男子個人六十六kg級 第三位 川原園健太
--	---	---	---	---	---



わき立つ思いを胸に 共に前へ



一月～三月の主な予定
・後期後半開始 一月十日
・学年学級PTA 二月二十七日～三月一日
・卒業式 三月十四日
・修了式 三月二十四日
・辞任式 三月二十七日

天にとどろく若い力
入場行進を待つばかりの校庭。その傍らで各色きょうだい学級が円陣を組み、日々深めている絆を確かめ合いました。納得のいくまで重ねた練習と準備に裏付けられた溢れる自信は「若い力」を天までとどろかせ、見守るすべての人々に熱戦の予兆を届けます。まだ秋口の強い日差しの下で、競技にも運営にも朗らかに動く子どもたちの頼もしい姿が、保護者の心にくつきりと刻まれる一日となりました。

入賞者の声 合唱部おめでとう

ホール中に私たちの歌を響かせることができ、満足しています。来年は全国を目指してほしいです。
旧部長 北沢 日向季

※ 紙面の都合で全ての入賞者名を掲載することはできませんが、多くの生徒が素晴らしい成績を収めてくれました。おめでとうございます。

クローズUP 附中

より能動的に問題点の改善に向けて歩み始めた生徒会活動の一例を紹介します。

附中生は様々な公共の交通機関を利用して通学しています。その状況下で、なかなかなくならないマナー問題。一年前より専門委員会等で活発に意見を出し合い、六月の生徒総会でも「交通マナーの改善」を議題にしました。更に今年度から、全校朝会に加え、「生徒朝会」が新たに設定されたことで、生徒全員で話し合う機会を得られるようになりました。

「交通マナーの改善」への取組は、社会性をはじめ、周囲とのコミュニケーション能力の向上や思いやりの大切さなど、多くの学びにつながっています。

後期開始とともに生徒会活動も三年生主体の旧生徒会から二年生主体の新生生徒会へ引き継がれました。川津はな旧生徒会長は引継ぎのあいさつで、築かれてきた伝統の大切さと、変化を遂げる行為の意味について触れています。附属中の生徒会活動は、不易と流行の視点を大切に、今後も力強く発展していくことでしょう。

新生徒会スタート

生徒会本部役員

- 生徒会長 土 慶乃介(二一四)
- 副会長 下之蘭諒真(二一)
- 書記長 清水乃里樺(二一五)
- 副書記長 満留 彩有(二一)
- 企画委員長 飯田 素子(二一三)
- 副企画委員長 山切 菜緒(二一五)
- 教養部長 坂巻 雪乃(二二)
- 德育部長 上山 愛華(二一四)
- 保健体育部長 鹿島 隆翔(二一三)
- 情報部長 岸田 博昭(二一)
- 顧問 眞邊 剛先生

生徒会長になって

土 慶乃介

「今日の附属中は昨日の附属中であってはいけな、故に明日の附属中は今日の附属中より進歩していかないといけない」私は日々進化し続ける附属中を目指しています。日々進化し続けることは難しいことですが、一年後、必ずや世界中に誇れる鹿大附属中になれることを約束します。

また、保護者の方々や先生方への感謝の気持ちを忘れず、一年間頑張ります。よろしくお祈りします。

編集後記

様々な行事を通して頑張る附中生の輝く姿をお届けします。成長する子どもたちの今を紙面から感じていただけたら幸いです。

(二年広報部)

〔9月、10月の生徒朝会により導き出された改善案〕
交通マナーの改善～市電を待っているとき編

附中生以外の方と附中生を分けない並び方
メリット……来た順に乗ることができる。
デメリット……附中生以外の方に声をかけにくい。〔詰めてください〕など

本校が誇るべきものは何だろうか。「研究公開」「運動会」「文化祭」等がすぐに思いつくであろうが、私は真に誇るべきものは生徒会活動であると考え、日々の一人一役活動に始まり、当直活動、朝のボランティア活動など地味で目立たないものであるが、自治的組織を運営する上で欠かせないものである。

夏休み明けから、生徒会本部役員と生活委員長、環境委員長たちを中心に、下校時に市電の電停が混雑する課題を自分たちで解決しよう、緊急集会を設けたり、全校生徒での話し合いの場を設定したりして、積極的に活動している。

今までは問題が起こると教師が指導するというやり方をとってきたことを考えると、大きな前進である。まだまだ動き出したばかりではあるが、「生徒の生徒」による生徒のための附属中」に向かって、大きな一歩を踏み出したことは事実である。

教頭 山田 剛

第57回 2016.10.14

文化祭

重ねよう 一人一人の輝き
つなげよう 未来への虹の架け橋



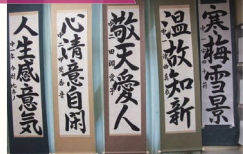
市民文化ホールでの初めての文化祭。輝きに満ちた個々の「おもい」が重なり調和され、未来へ繋がる素晴らしいステージとなりました。ホールに響く合唱は、観客の心に感動を与えました。



2年生全員合唱



校内展示発表



鹿児島市学校開放に合わせ日頃の学習の成果を展示しました。各教科の秀でた作品が一同に揃い目をひきました。



吹奏楽部

「音楽の玉手箱」



合唱部

「歌の贈り物」



演劇部

「白雪シテラ」



「アジアファッションプロジェクト」



市民文化ホール内

文化祭を終えて
実行委員長 米田 昌生
私が今回の文化祭で学んだことは、たくさんありますが、大きくは、皆さんの小さな声が集まって大きな合唱となるように、見えない所でたくさんの方の小さな力があって初めて全員が舞台の上で輝けるのだということです。多くの人が支えてくださったお陰で文化祭が素晴らしいものになったことを嬉しく思うとともに、ここで培った「おもい」を伝統ある附属中学校の未来へ繋げていきたいと思っています。



校内展示発表

美術部

初めて部員全員で取り組んだ全体作品は、生誕300周年の伊藤若冲の「樹花鳥獸図屏風」です。若冲独特の芸術を味わうことができました。

文化祭 report 保護者の感想

- あの舞台上でピアノを弾いたり指揮したり歌ったりして、また一つ成長したのでは。
- 駐車場も座席も余裕があって、慌てずにすんだ。帰りもスムーズに車が出せた。
- みんなの堂々とした姿に感動した。感動をありがとう。
- 電子音が気になることがあったので、互いに気をつけたい。

第66回 2016.9.11

運動会

重ねよう 五色のおもい
駆け上がれ さらに輝きへ



一人一人の「おもい」、さらに五色の団の「おもい」を束ね、全力で競技に取り組みこれまで築いてきた伝統ある運動会のさらなる輝きをめざす附中生の姿は、見る者の感動を呼びました。結果は、競技の部「白組優勝！」応援の部「青組優勝！」となりました。



3年生応援団



今まで築き上げてきた強い団結



運動会を終えて
体育委員長 益満 諒
強い五色のおもいを束ね、駆け回った第六十六回運動会が終わりました。嵐のような毎日の中で、練習の企画・運営を進めることは想像以上の大変さでした。そんな忙しい日々を通して、大きな感動を得られたのは、最後まで熱く指導してくださった先生方、支えてくださった保護者、そして最後まで頑張り抜いた仲間のお陰です。感謝を胸に、さらなる輝きを目指します。



恐れず前へと歩き続ける勇気



さらなる高みへの挑戦



本音でぶつかり合う友情



強く誰にも負けない情熱



決勝審判係



出発係



総務係

用具係

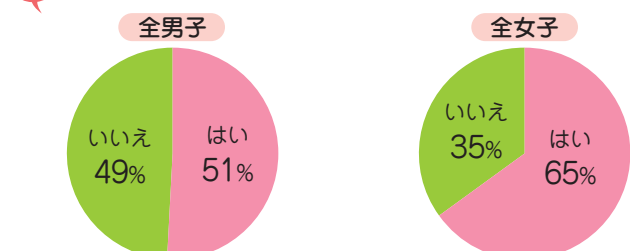
陰で支えています

～悩みは心の成長～

「あなたの悩みを聞かせて!!」

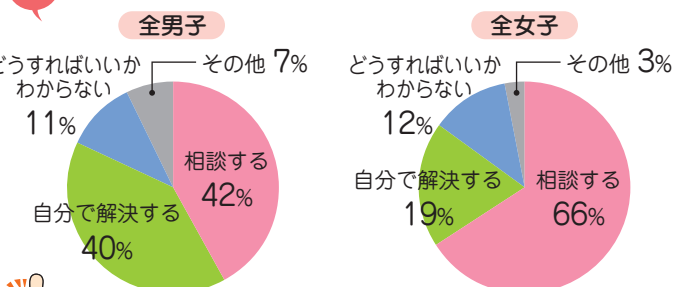
生徒

Q 今、悩みを抱えていますか？



全体の約半数以上が「悩みがある」と答えています。3年女子の「はい」が75%で一番多く、他は男女とも50%前後となりました。

Q どのように悩みを解決しますか？



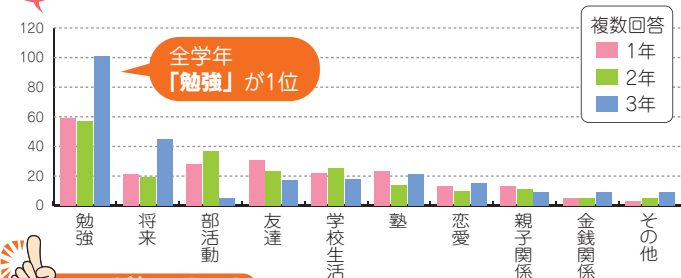
ココが気になる!

「どうすればいいかわからない」が10%以上。その他の答えとして寝て忘れる、放っておく、我慢するなど思春期の複雑な心境がうかがえます。

「自分で解決する」理由

- 面倒くさい
- 話す人がいない
- 他の人に迷惑をかけたくない
- 恥ずかしい
- 心配させたくない
- 相談相手にふれまわられるとイヤ

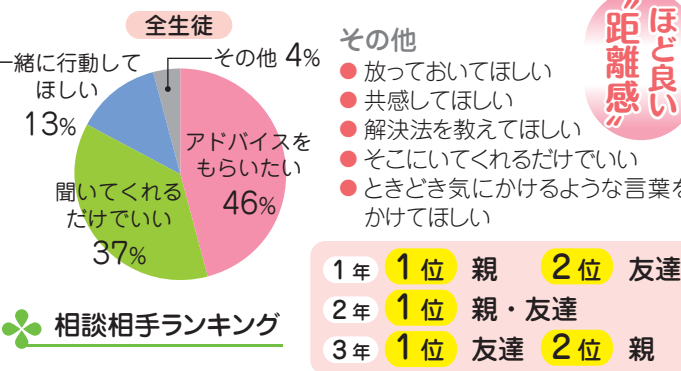
Q どのような問題について悩んでいますか？



ココが気になる!

全学年共通の悩みは「勉強」!
1, 2年生の2位, 3位は「部活動」「友達」などの「社会性」。3年生は「将来」が約25%、「部活動」が少数となり受験学年としての気持ちの切り替えがなされているようです。

Q あなたが悩みを抱えて誰かに相談するとしたらその人にどのような対応を望みますか？



「距離感」ほど良い

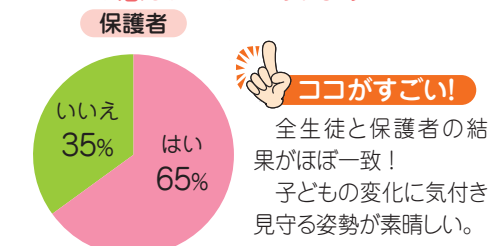
アンケート実施日
平成28年10月5日
回答数(回答率)
生徒: 557名(93%)
保護者: 531名(89%)
御協力ありがとうございました。

研修部とのコラボレーション

PTAセミナーでは子どもたちの悩みに向き合う親のあり方についてお話をいただき、親子のかかわり方について考えるきっかけとなりました。保護者の方々の気になることを取り上げ広報部にて「悩みについてのアンケート」を実施いたしました。

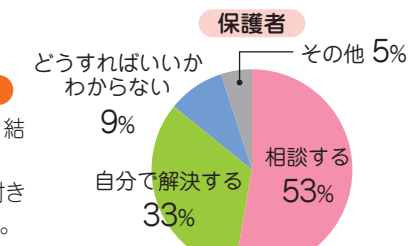
保護者

Q 今、お子さんは悩みを抱えていると感じたことはありますか？



ココがすごい!
全生徒と保護者の結果がほぼ一致!
子どもの変化に気付き見守る姿勢が素晴らしい。

Q お子さんはどのように悩みを解決していると思いますか？



Q どのような様子の変化で気づきましたか？

- 1位 態度
- 2位 表情
- 3位 話し方

Q お子さんはどのような問題について悩んでいると思いますか？

- 1位 勉強
- 2位 学校生活
- 3位 友達

子どもたちは学年が上がるにつれ悩む内容も少しずつ変化しています。複数の悩みをもつ子どもも多く大人からは見えにくい子どもの側面が見えてきます。

Q お子さんから悩みを相談された時の対応の仕方を教えてください。

- 話をよく聞く
- 一緒に考えてみる
- 前向きになるような声かけをする
- 自分の経験を伝える
- 共感してあげる
- 話せるまで待つ
- 生活記録を利用
- 自分以外の意見があることを伝える
- 寄りそい意見の押し付けはしない
- ベストな方法が見つからない時は一緒にアドバイスを受けに行く

ポイントは「心地よさ」

研修部PTAセミナー H28.7.12

テーマ 「親子で築く信頼関係～ともに成長、ともに自立」

本校卒業生保護者 伊地知 法子さん
思春期の子供たちが悩みや不安を抱えているとき、私たちが親が出来ることはまず子どもの話を十分に聞き、受けとめてあげることです。普段から子どもは親の態度をしっかりと見ています。その中でも褒め方は親の力の見せ所でもあります。

限りない愛情で子どもの力を信じれば子どもは親を信じることができ、そして自分を信じることが出来ます。それが自己肯定感につながっていきます。

子育てに手のかかる時期も高校生まで。ユーモアと笑顔のある家庭と丁寧な生活の中にある幸せを親子で築きましょう。

ご自身の経験を振り返り笑いを交えたお話の中に、お子様とともに成長し築き上げた信頼関係がうかがえました。今、思春期の子供をもつ多くの保護者にとって子育ての基本の大切さを感じる講演でした。

保健室・澤野先生にインタビュー!

Q 悩み相談に来る生徒はいますか?
A 結構多いですね。特に女子が多く、男子もちらほら。休み明けの月曜日と週半ばの水曜日が多いです。

Q 悩み相談を受けたとき、どのように対応されていますか?
A 思いをきいて受けとめて、どうすれば解決するのか一緒に考えています。

家庭へのアドバイスをいただきました。
附中生はタイトなスケジュールで時間に追われ忙しいせいか、生活習慣の乱れがみられます。睡眠時間の確保を軸に家庭での時間の使い方を直してほしいと思います。

アンケートを終えて

子どもは悩みから様々なことを学び、成長していきますが、親も子どもの悩みを知ることで親として成長していくのかもしれない。結果を見ると、学年が上がるにつれ悩みや相談相手も変化していますが、親として、どんなときでも子どものゆれる心を丸ごと受けとめてあげることが何より大切だと感じました。

世界とつながる 世界のリーダーシップをとるために 続けよう! 国を越えた学び合い

アジア・フレンドシップ・プロジェクト 2016 つなげよう日本と台湾の絆の架け橋

1年生は総合的な学習の時間で「観光・伝統・食・風習・学校」のグループに分かれ、台湾の文化や日本との違いを学びました。調べたことを題材にTV番組とCMを作り、文化祭ではスクリーンに映像を、ステージで劇を、客席まで使ってダイナミックに表現しました。生徒自身が学んだことを映像や劇にまとめようとする中で苦労も多かったですが創意工夫を重ね、素晴らしい発表を披露してくれました。次々と展開されるTV番組と生徒たちの見事な演技力に、観客は楽しく台湾と日本のつながりと未来を感じることができました。



台湾交流 3年目

9月5日～9月16日、国立台北教育大学より7名の大学生が訪れ、附属中で教育実習を行いました。日本全国でも外国からの教育実習生受け入れ例は少ない中、3年目となります。台湾の人々の会話は、日本人には聞き取りやすく、アジア文化を持ち合わせていることで馴染みやすい面があります。似ているようで違っている外国から多くのことを学んでいます。



交流の様子 Q&A (山田教頭先生、英語科主任・有島先生、1年総合係・天野先生にお聞きしました。)

Q 生徒たちの反応は?
A おもしろい!! All Englishでも「分かる!」自信をつけてくれた。1年生は前期前半に調べ学習をしたことと、前期後半の台北教育大実習生によるプレゼンテーション内容が一致するものが多く、外国をグッと身近に感じられた。

Q 生徒たちに見え始めた変化は?
A 完全に英語のみの授業と日常会話の中で、「英語ができるようになりたい」「伝えたい」という気持ちが強まっている。たとえ正しい英語でなくても、思いがあれば伝えることも同時に学んでいる。特に1年生から体験している3年生は、外国人と対面する際の抵抗感のハードルがだいぶ下がってきた。

Q 実習生の感想は? Let's read!
A They enjoyed every single day in your schools cause they can feel the passion of teachers towards their job and the strong enthusiasm and motivation of the students for their study of English. (台北教育大学エリック・チェン教授の手紙より)

Q 台湾交流の今後は?
A 附属中のやり方を台湾の大学生に学んでもらうことで私たち教員にも新しい発見がある。附中生にとっては学んでいることを試すチャンス! 現在ICTを使って台北の大学生や中学生と会話をするなど遠隔授業を実験的に進めているが、将来は中学生同士が議論をするような協働型授業にもつながってほしい。生徒たちが段階を踏んで経験を重ね、いつか国際社会に通用する感覚を身に付けていくために、台湾交流3年目の今、教育実習の地道な継続が大切と感じている。



このコーナーの文章を書くに当たって久しぶりに中学時代を振り返ってみると、悔しい苦い思い出が多いことに気がきました。運動会では、色別対抗リレーのアンカーに選ばれたものの、ゴール手前で抜かれ二位になったこと、野球部ではレギュラーに定着できず、最後の大会も試合に出場できずに、すごく悔しかったです。しかし、この悔しさがあつたからこそ、人に負けたくないという気持ちで努力し続けることを学んだ気がします。



先生の中学時代!
悔しさをバネにして
二年三・四組
副担任
日高 晋吾

共に高めよう！PTAの力

総務部 九附連親睦球技大会 in 福岡 「チーム附中」優勝!! H28.8.7(日)

練習を重ね多くの方々の応援をいただき迎えた決勝戦。優勝をかけた残留米小との真剣な試合に会場の熱気も高まりました。附属小の声援を味方につけ、安定したチームワークで見事に輝いた瞬間は喜びで笑顔がはじけていました。地震で被災した熊本チームを励ます特別企画も催され九州はひとつの思いで包まれた大会となりました。



保健部 鹿附連バレーボール大会 中3チーム 中2チーム2連覇 H28.6.18(日)



六月十八日に鹿附連親睦球技大会が行われました。選手の方々の一生懸命なプレーに多くのPTAの方々が手づくりうちわで声援を送り、先生方、保護者を含め附属学校園の親睦が一層深まりました。結果は、見事に附中二年チームが優勝し大変白熱した大会でした。

研修部 教育講演会 H28.10.28(金)

楠中・高等学校の秋元達也校長先生をお招きし、「来たるべき日のために」のテーマのもと、子どもたちの自立へ向けて親として出来ることをユーモアを交えてお話をしていただきました。

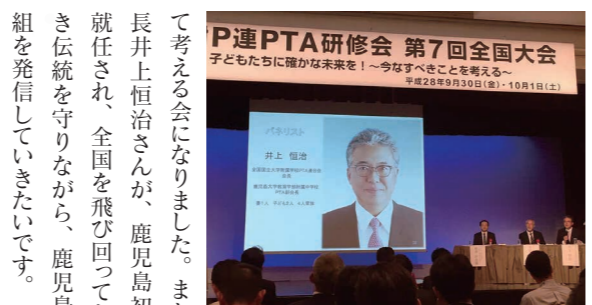
生活部 あいさつ運動、夏期合同補導の実施 公共交通機関マナー実態調査

生活部では例年、あいさつ運動、補導及び交通マナー調査を実施しています。ほとんどの生徒が問題行動なくマナーが守られています。時々、親子で登下校の事を話題にしてほしいです。

広報部 佳作, 優秀賞受賞

皆様のおかげで、平成27年度鹿兒島県PTA広報紙コンクールにおいて佳作賞、市広報紙コンクールにおいて優秀賞をいただくことができました。

PTA NEWS 全附P連PTA研修会全国大会 in東京 H28.9.30(金)~10.1(土)



この度の全附P連PTA研修会全国大会では「子どもたちに確かな未来を」というテーマのもと、井上恒治さんが、鹿兒島初の全附P連会長に就任され、全国を飛び回っておられます。古き良き伝統を守りながら、鹿兒島からも意欲的な取組を発信していきたいです。

研修部 PTAセミナー H28.7.12(火)

「親子で築く信頼関係～ともに成長、ともに自立」 本校卒業生保護者 伊地知 法子さん

子育ての中で、子どもと接することのほかに最も大切なのは、お母さんの笑顔。これが子どもの安心につながる。伊地知さんが実践されている表情筋のストレッチを、参加されたみなさんで行っていただきました。顔の筋肉がほぐれ、自然と笑顔がつかれる。そんなお母さんになりたいものです。(関連記事4面)

PTA研修視察旅行 H28.9.28(水)

鹿兒島実業高校の個性を大切にされた細やかな進路指導、心配りやサポート体制などをお聞きし、授業風景など校内を見学しました。昼食は、バレルバレープラハに移動し、麴が人間の身体にもたらす好影響についてのお話を聞いた後、麴豚を使ったランチをいただきました。

心をひとつに! 球技大会 H28.7.12(火)

学年別総合優勝

- 3年生...1組
- 2年生...4組
- 1年生...1組

One for all, All for smile 全員が本気で笑顔になれる旅

修学旅行 11月1日~4日

2年生

1日目 奈良・東大寺・京都・嵐山

2日目 京都自主研修

3日目 京都の活動体験

友禅ハンカチづくり、法話・座禅・抹茶、念珠づくり、清水焼絵付け、八ツ橋づくり

4日目 ユニバーサルスタジオジャパン

修学旅行を振り返って
実行委員長 井上 雅貴
私たちはこの修学旅行で学校では学べない、日本の伝統の雄大さや歴史の深さを学びました。また、自主研修や体験活動では、友人の普段見ることができない一面を見ることができ、楽しい三泊四日となりました。この経験を今後の学校生活に生かしていきたいです。

輝け 一人ひとりの個性 つながれ 199の真のおもい

宿泊学習 11月2日~4日 1年生

3年生 職場体験 11月1日~2日

1日目 体験活動・野外炊飯

林業体験

2日目 横岳登山

3日目 ものづくり活動

草細工づくり

自転車のトヨタ、教育部実習地、こまつばら幼稚園、中原別荘、今村病院

2日間の体験を終えて

- 働くことは楽しかったけれど、きつくて大変だと思いました。
- 未来を見ることができました。
- お客様の笑顔が見られて良かったです。
- 気をきかせて動くことの難しさを感じました。
- 職員の方のプロ意識に圧倒されました。
- 両親にもっと感謝しようと思いました。

様々な業種 55ヶ所の事業所に御協力いただきました。